



照井 文雄 議員 (清風会)

一括質問方式

遠野市防災マップについて

問.....

全世帯に配布された防災マップが良くわからないと言っている声がある。さらに拡大版のマップに様々な情報を盛り込めるマップが必要と考える。市長の考えを聞きたい。また、防災無線や遠野テレビが使えない時の情報伝達の方法はどうするのか。

配布したところである。さらには5月に、地域防災マップを各行政区単位で作成し配布した。

このマップは、各自主防災組織に取り入れて、子供から年配の方までが参加するきっかけ作りと考えている。災害時の情報伝達については、防災センターを拠点として防災無線やケーブルテレビはもちろんだが、消防団、衛星携帯電話、アマチュア無線の整備や全国警報システム等によりあらゆる情報手段を並行



して用い、「エアポケット」が生じることなく、迅速かつ正確に全ての方々に情報が届くような取り組みを進めている。

増加が見られる 廃屋の問題について

問.....

市内各地の廃屋が目立ってきている状況で、早急な対策をとる必要があるのではないかと。また、解体の時の補助は考えていないのか。

答.....

空き家の増加・廃屋・危険家屋に関しては重要な問題であると捉えている。昨年度、国において「空き家対策の推進に関する特別措置法案」が示されたので、



廃屋や空家対策は全国的にも喫緊の課題

立法化を待つて当市で条例の準備をしたものを活かして対応することにした。議員立法が国会に提出され、可決されると行政の強制執行が可能になり、解体等の補助、必要な税制上の措置も行えることになり、空き家問題の解決が推進されると期待している。

現在市内には利用可能な空き家319軒、廃屋や危険家屋が65軒ある。県内の条例制定状況は、西和賀町の「空き家等の適正管理に関する条例」がありその他の市町村は未制定である。法案の成立に即して空き家等対策計画の策定及び協議会を組織し、対応に取り組む所存である。



菊池 民彌 議員 (新興会)

一括質問方式

西のメルヘン・東の昔話を 縁に友好都市締結を

問.....

グリム兄弟が育ったドイツ・シュタイナウ市の状況は、同市とどんな交流をして参ろうとしているのか。

答.....

シュタイナウ市との交流は、平成24年9月から日本グリム協会の橋本孝会長の仲介により始まり、同年12月に、同会長と市職員がシュタイナウ市長を訪ね、佐々木喜善とグリム兄弟をテーマにした文化交流事業を進めたい旨遠野市長の親書を手渡した。

シュタイナウ市は、フランクフルトから東

側に約40キロメートルの位置にあり、1万1000人の町で、メルヘン街道沿いの観光地になっている。議員は33人である。今後、「グリム兄弟」と「日本のグリム・佐々木喜善」の関係資料展や人的交流の文化交流を進める。

友好都市の締結は、一気に進めるのではなく、段階を踏みながら取り組んで参りたい。



佐々木喜善全集とグリム童話

皇后さまの御歌を 風化させないため 記念碑建立を

問.....

皇后さまの詠われた御歌に対する市長の思いは、御歌を本市の宝とし、記念碑の建立をすべきと提案をしたいが。

答.....

天皇・皇后両陛下は、東日本大震災の被災地御訪問のため、昨年7月4日、5日の両日、本県を御訪問され、本市にも御訪問いただいた

た。両陛下には、被災地の後方支援活動の概要をご説明した。議員指摘のとおり、今年1月1日の新聞に、天皇・皇后両陛下の御歌八首が掲載され、その中の一首が、皇后さまの「遠野」と題した御歌で、「何処(いずこ)にか流れのあらむ 尋(たず)ね来し 遠野静かに 水の音する」であった。御歌に対する私の思いは、誇りに思い、自信にしながらまちづくりの力を上げて参る考えである。御歌の記念碑については、震災復興が形に見え、被災地の皆が安心して生活できる環境が整った時と思う。その時に具体的な検討になるのではと思っている。